



学びの基礎力: 金原実践

- 新番組へのチャレンジ
- 学力観についてのしっかりとした検討
- 番組の複合利用
- 遠くから、家族の反対を振り切って「なにわ放研」に参加
- 学校でも普及活動に着手
- もう少し堂々と発表を - - シヤイなのは分かるけれども

確かな学力: 浅香実践

- 口が達者(口だけにならないように)
- 番組の長所を活かし、短所を克服している
- アイデアが斬新、学力向上のブームと番組活用の接点を上手に導出している(それが実は - -)
- また、その結果をデータで実証している
- プレゼンのスライドに「図」がほしい

普及促進: 藤原実践

- これも新番組活用へのチャレンジ
- 番組や実態等の詳細な分析
- それを活かした多様な実践の展開(その整理)
- B-Waveの取り組みも成長・発展させないと - -

まとめに代えて

- 先ほどの番組活用プラン演習活動について
- 今回のOB会について
- グループや個人へのメッセージ

番組活用プラン作成演習から

- 放送番組という教材は、扱われる「素材」の親近性と意外性が命だ
- そうすると結局、この教材を活かした授業は合科的な展開になりやすい - - 今回なら国語 + 音楽、図工、総合、社会、家庭
- 番組は、1つの評価規準例を教師に提供してくれている(よい番組は判断基準例も)
- Cチーム等の「学び直し」は学力向上の定石、枝分かれさせてもよい

今回のOB会の特徴と課題

- 現役生の取り組みがない状況下での取り組み
- 5期にわたる20人ほどが豊かにコミュニケーションできた(川崎組のホスピタリティーの充実によるところ大だろう)
- 実践報告と番組活用プランというセッション割が定着(?)
- 盛り上がる期とそうでない期が存在



これからの「虎の穴」OB会

- とりあえず10年続けましょう(あと5回は)
- 現役生がいなくても、地方単位の活動、プロジェクトベースの営み等が重要視される
- 各種助成や全国大会発表のチャンスを生かそう
- やがては出版等を考えるか - -
- 次年度の大坂大会(8月4・5日)に向けて
 - ミニ教養教室などのアクション
 - 当日までに共通の宿題を
 - できるだけ早く案内を

東京組へのメッセージ

- こつこつ番組利用に取り組んでいるのはすばらしい
- 全放連の裏方の仕事もよくこなしている
- 学会等でのアピールに期待



浜松組へのメッセージ

- 放送教育不毛の地でよくがんばっていますね
- 教育工学研究協議会などでの出稽古も立派です
- 堀田さんがいなくても続けられることを証明しないと - -



「なにわ放研」メンバーへのメッセージ

- 地道にがんばっている
- 例会継続の努力は誇ってよいと思う
- 全放連や地方の放送教育研究グループとの協力や対決を大切に
- (遅刻はダメよ)



圓子さんへのメッセージ

- 遠いところからよくぞ参加してくれました(しかも2年連続)
- 「かでで」研究会の活動もがんばって
- 誰かパートナー、ライバルを見つけて



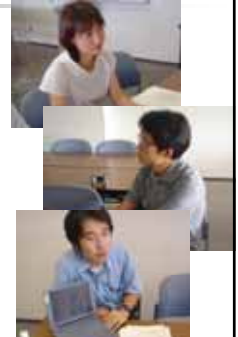
宮崎さんへのメッセージ

- ムードメーカー役、お疲れ様でした
- セミナー等での活躍を頼もしく思います
- 八木さんと富山組を作ってもらえるといいね(いつか、OB会 in 富山を)



川崎トリオへのメッセージ

- OB会の企画・運営、お疲れ様！
- 研究授業、よくがんばっていますね
- 川崎の情報教育(放送教育)研究グループでも活躍しているのがすばらしい
- 全放連の研究活動にも「いっそう」参画して



桜田さんへのお礼とお願い

- お忙しいのにご参加いただき、ありがとうございました
- これからも、OBたちと制作サイドとの架け橋をお願いします

